

科目ナンバリング		U-LAS05 20058 SJ39							
授業科目名 <英訳>		地理学基礎ゼミナールIII (地理情報) Introduction Seminar on Geography III (Geographic Information)			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 久木元 美琴		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	水4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
本授業では、地図や地域統計を含む広義の地理情報を取り上げ、それらを用いた地理学的研究や近年の動向を学ぶとともに、地図や地域統計、地理情報に関する入門的な分析手法を実習する。これを通じて、地理学の研究遂行に必要な地図・地理情報に関する知識や地図作成の基礎的スキルを習得することを目標とする。									
【到達目標】									
地理学的研究における地理情報や地域統計・地図に関する理論と研究動向を理解する。 地理情報や地域統計を用いた地理学的分析手法の基礎を習得する。									
【授業計画と内容】									
受講生の人数や進度に応じて、回数や順番を変更する場合がある。									
第1回 イントロダクション：地理学と地理情報 第2回 地理学的研究で用いられるさまざまな地図，地域概要図 第3回 地図サービスとWebGIS 第4～10回 地理情報システムを用いた分析と表現 以下の内容についてそれぞれ1～2回をかけて実習を行う。 GISの基本操作 地理空間情報の取得 統計地図の作成と注意点 アドレスマッチング ジオリファレンス 勢力圏 地域概要図 第11～第14回 受講生による発表とディスカッション 第15回 フィードバック									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
平常点100% (実習への参加と課題提出40%、プレゼンテーション40%、グループワークまたはディスカッションへの参加状況20%)									
----- 地理学基礎ゼミナールIII (地理情報) (2)へ続く -----									

地理学基礎ゼミナールⅢ（地理情報）(2)

[教科書]

プリント等を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前に配布した資料を用いて事前学習または課題作成を行い，授業後には実習の成果物をまとめ指定された形式（小レポート等）で提出する。

[その他（オフィスアワー等）]

実習指導および質疑応答に適切に対応するため、上限を15名とする。とくに履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。

この授業のなかでは、無料のGISソフトを用いたパソコンでの実習を行う（Windows環境を想定）。

実習・演習形式のため、毎回の課題作成と提出が必要になる。

生成AIの使用制限: 課題や評価に関わる成果物のいかなる部分も、生成AIによって生成、作成、製作してはなりません。提出が求められるすべての課題は学生自身が作成したものでなければならず、生成AIを使用して評価に使用される課題や成果物を作成することは厳格に禁止されています。ただし、自らの学習を補助するために、概念の探究を行うこと、説明を受けること、内容を翻訳すること、については、生成AIを使用することができます。使用する場合には、「京都大学の教育・学修におけるAIの利用について」のガイドラインを遵守し、誤情報やバイアス等のリスクが含まれることを念頭におき、根拠資料・一次情報の確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部